

■最近の日本の主な原発輸出の動き

2011年12月 インド

野田佳彦首相(当時)とシン首相が日印原子力協定締結に向けた努力を盛り込んだ共同声明

2012年4月 ヨルダン

ヨルダン原子力委員会が原発計画の優先交渉権を三菱重工・仏企業連合と露の2社に付与

10月 イギリス

日立がウィルフア、オールドベリー両原発を建設予定の英ホライズン社の買収を発表

10月 リトアニア

国民投票で日立が受注予定の原発建設が反対多数となる

2013年1月 トルコ

東芝に続き、三菱重工と仏企業連合の受注競争への参入判断

2月 サウジアラビア

原発輸出への協議開始で合意

フィンランド

ハンピキビ原発で東芝が優先交渉権

3月 ベトナム

日本原電がニントゥアン原発の実現可能性調査の概要をまとめること

日本国内では慎重な一方

「ベトナムの技術・管理レベル、政府の行政能力、汚職や腐敗がはびこっている状況からして、日本からベトナムに原発を輸出してほしくはありません」。ベトナムの歴史的文書の研究を行っている国立ハンノム研究所のグエン・スアン・ジエン博士(42)は、伊藤正子・京都大大学院准教授(ベトナム現代史専攻)にそう訴えた。今月16日、ハノイ市内で会った時のことだ。

ジエン博士は昨年5月、原発建設に反対する署名活動をインターネットで始めた。ベトナム政府の圧力で中止を余

る。でも日本政府からは何の返事もない。不誠実ではないでしょうか」と憤る。

2010年10月、菅直人首相(当時)とベトナムのグエン・タン・ズン首相の会談で、日本は中南部ニントゥ

アン省タイアン村のニントゥ

儀なくされたが、集めた数百人分は日本政府に送った。伊

藤さんは「ベトナムは経済的には自由な面が多いが、政治的には一党独裁で言論や集会の自由が制限されています。政策批判は難しく、逮捕・拘禁の恐れもある。ジエン博士は必死の思いで署名を集めたのです。でも日本政府からは何の返事もない。不誠実ではないでしょうか」と憤る。

2010年10月、菅直人首

相(当時)とベトナムのグエ

ン・タン・ズン首相の会談

で、日本は中南部ニントゥ

アン省タイアン村のニントゥ

美しいサンゴ礁がある国家公園と一部重なっていて、環境破壊が懸念されます。過去に

8mを超す津波に襲われたこ

とがあり、現地の少数民族チ

族が津波で犠牲者が出たこ

とあります。過去に

8mを超す津波に襲われたこ

とあります。過去に

8mを超す津波に襲われたこ